

調査報告書

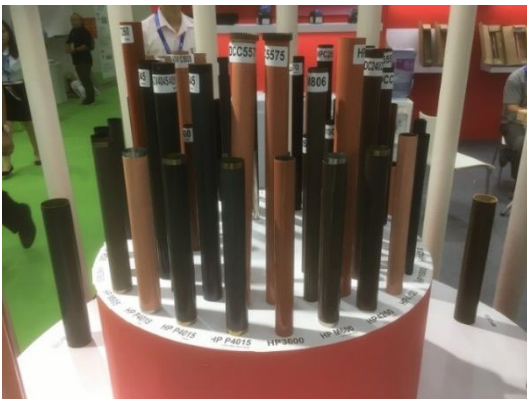
〔2019年版ローラー系部品マーケット総覧〕

『戦略転換が急務の
ローラー系部品業界』

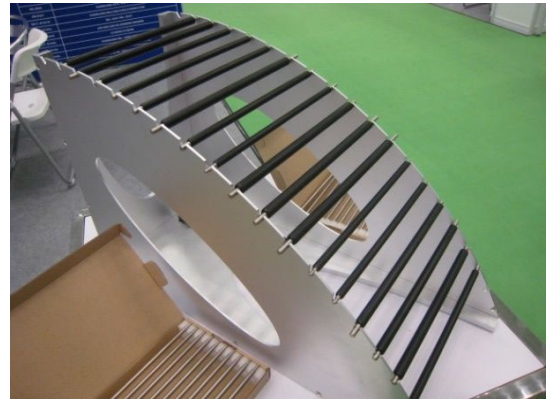
＝苦渋の決断を迫られている大手から中小業者の動向＝



<HPはA4モノクロプリンタで旧サムスン（現HPPK）のエンジン搭載をスタート>



<アフター市場では定着ベルトの需要が増加>



<HPのコンパチカートリッジ向けに大量の帯電ローラーが販売>

2019年6月



〈調査概要〉

I. 調査テーマ

『戦略転換が急務のローラー系部品業界』

＝苦渋の決断を迫られている大手から中小業者の動向＝

II. 調査主旨

事務機業界は、米・Xerox と富士ゼロックスの合併がまだ決まらず、米・Xerox 側からは富士フイルム以外への売却を想定させる新たな動き（持ち株会社制への移行）すら出てきている。どの会社がどこと合併しようが、市場構造が大きく変わるわけではない。個別メーカーにとってのプラス、マイナスはあるが、今後市場が拡大していくわけではない。むしろ、オフィス市場はインクジェット機にすら攻められ始めている。但し、インクジェット機器が伸びるかどうかはひとえに、この市場を握っているメーカーや販売業者にとって、レーザーとインクジェットではどちらが利益をもたらすかにかかっている。「ユーザー寄り」といってもメーカーも販売業者も儲からない機器が市場を占めることはあり得ない。よって、インクジェット機のオフィス拡大はむしろ自分の首を絞めることにならないだろうか。

また、部品業者にとっても魅力のないビジネスである。すでに、電子写真業界にとって、メーカーが生き残りをかけた開発戦略をとっているため、当然部品業界に対する影響は極めて甚大である。大手部品メーカーほど、販売額の低下・利益率の低いビジネスなどは削減の対象にされ兼ねない。投資は抑制され、納入業者の選別に入り、部品別の撤退が相次いでいる。

すでに帯電ローラー・中間転写ベルト・定着ベルトでは撤退業者が出ているし、非磁性現像ローラー・転写ローラー・ヒートローラー・加圧ローラーでも事業縮小・撤退に向けた動きが加速している。

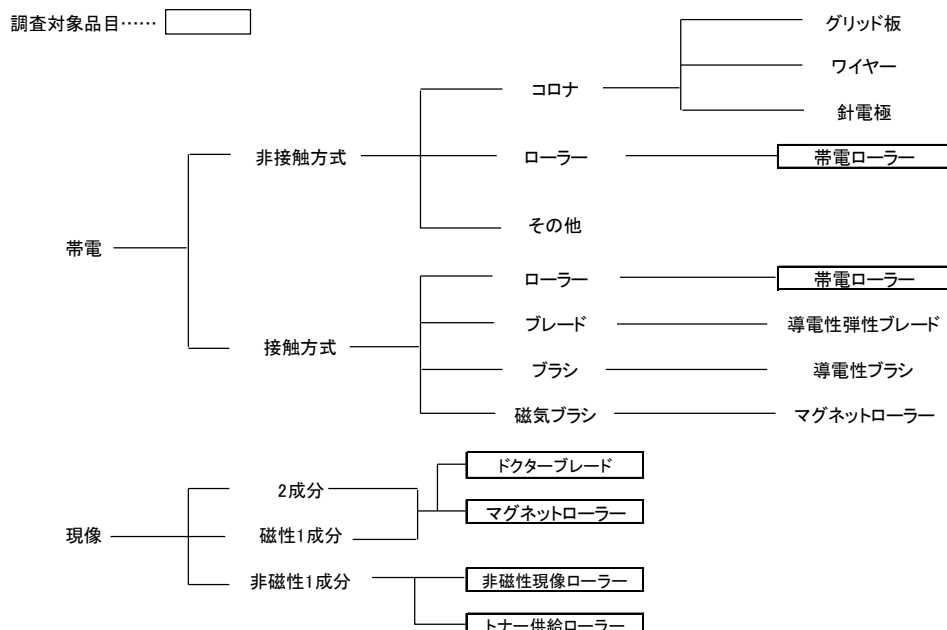
日本の部品メーカーにとっての影響は、ハードメーカーのコストダウンによる締め付けだけでなく、韓国メーカーや中国メーカーの純正部品への参入拡大もある。最も技術開発の動きが大きい定着部品にいたっても、加圧ローラー・ヒートローラーなどは競争が激しく特に生き残りが厳しい。

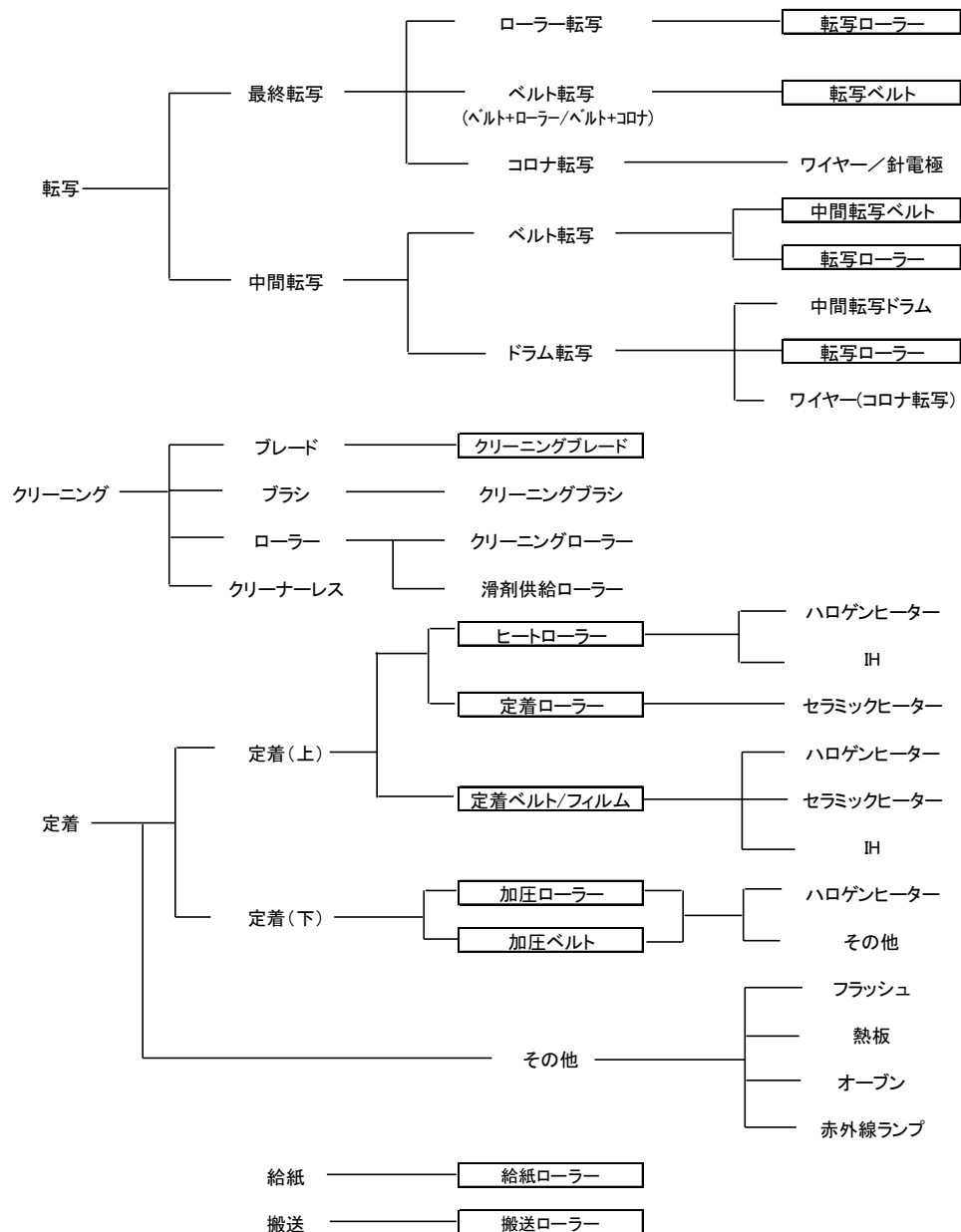
こうした、厳しい環境にあって、2019年版レポートでは、ローラー系部品メーカーの生き残り戦略を総合的に調査・分析するものである。

日系ローラー専門メーカー、中国・韓国系ローラーメーカー・内製メーカーを詳細分析

III. 調査対象品目と調査対象先

1. 調査対象品目





2. 調査対象先

- 2-1. ローラー専門メーカー: 日本メーカー(34社)／韓国メーカー(12社)／中国メーカー(59社)／香港メーカー(1社)／台湾メーカー(2社)／その他(7社)／内製メーカー(6社) (合計約 115社)
- 2-2. システムメーカー(主要 14社): 複写機メーカー／プリンタメーカー／FAX メーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

- 1. 調査範囲: 調査対象範囲は2016年～2022年とする。
- 2. 調査方法
 - 1) 調査対象先メーカーへの直接訪問面接調査
 - 2) 公開されている文献、資料、統計などの分析及び調査
 - 3) 弊社に蓄積されているデータの活用

V. 調査形態、調査期間、他

- 1. 調査形態: 本調査はマルチクライアント方式による調査である。
- 2. 調査期間: 2019年4月～2019年6月中旬
- 3. 調査報告書刊行日: 2019年6月26日
- 4. 提出報告書: A4判ワープロ製本
- 5. 価格: 400,000円 (消費税別途)
- 6. 調査担当: 山本 幸男／吉田 晃介／針生 正史
(TEL: 03-3831-9201、FAX: 03-3831-9204、ホームページ: <http://www.datasupply.jp/> / E-mail: yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp)

《目次》

[調査結果の要旨]

A.	分析編	1
A-1.	部品別市場動向	1
	1. 出荷本数(2016年~2022年) 2. 出荷金額(2016年~2022年)	
	3. 用途別市場動向(2018年/2022年) 4. サイズ別市場動向(2018年/2022年)	
	5. 材料別市場動向(2018年/2022年) 6. 部品別技術、材料動向	
	7. 価格動向、寿命 8. ローラーメーカーの出荷金額シェア(2018年) 9. ユニット化への対応	
	10. プロダクションプリンタと大判プリンタ用部材の出荷状況	
	11. 部品別メーカー別生産拠点 12. ローラー系部品の参入メーカー一覧	
	13. システム別使用部品点数	21
	14. プロセス別メーカーの最新動向	22
	14-1. メーカー別プロセス概要全体 14-2. プロセス別メーカー動向	
	14-3. 個別メーカー最新動向	
	キヤノン/リコー/富士ゼロックス/コニカミノルタ/シャープ/東芝テック/ 京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/沖データ/村田機械/ HP(HP Printing Korea) /レックスマーク (Ninestar グループ)	
A-2.	ハードウェアの出荷動向	37
	1. ハードウェアの方式別出荷台数(複写機/プリンタ/FAX)	37
	2. 2018年のハードメーカー別方式別出荷台数	38
	2-1. 複写機の出荷台数 2-2. レーザー/LEDプリンタの出荷台数	
	2-3. レーザー/LED FAXの出荷台数	
A-3.	中国及び東南アジア地域におけるシステムメーカー/部品メーカーの生産拠点	41
B.	部品別市場編	49
	形状図と材料、製造工程、使用本数/メーカー別市場動向、技術動向、価格、供給関係、工場	
	[1]帯電ローラー/[2]現像ローラー:[2]-1. 現像部合計/[2]-2. マグネットローラー/ [2]-3. 非磁性現像ローラー/[3]トナー供給ローラー/[4]転写ローラー/[5]中間転写ベルト/ [6]定着ローラー/ベルト:[6]-1. 定着部合計/[6]-2. 加圧部合計/[6]-3. ヒートロー ラー/[6]-4. 定着ベルト/[6]-5. 加圧ローラー/[6]-6. 加圧ベルト/[7]クリーニングブ レード/[8]給紙ローラー/[9]搬送ローラー/[10]ドクターブレード	
C.	個別メーカー編	185
C-1.	国内専業メーカー(50音順)	185
	<共通調査項目>ローラー系部品の売り上げ高(複写機・LBP向け/ATM向け/インクジェットプ リンタ向け)/出荷本数・出荷金額(2016年~2022年予測)/用途別サイズ別出荷本数・ 出荷金額(2016年~2022年予測)/材料別出荷本数・出荷金額(2016年~2022 年予測)/技術及び材料の動向/価格動向・寿命/材料購入先/供給先一覧/国内外の生産拠点	
	[1]I.S.T/[2]荒井製作所/[3]イノアック/[4]NOK/シンジーテック/[5]カネカ/ [6]錦城護謨/[7]金陽社/[8]グンゼ/[9]昭和電線ケーブルシステム/[10]信越ポリマー/ [11]住友ゴム工業/[12]住友電気工業/[13]住友理工/[14]TDK/[15]東邦ゴム工業/ [16]日星電気/[17]ニッタ化工品/[18]日東電工/[19]NEOMAXエンジニアリング/ [20]バンドー化学/[21]日立金属/[22]フコク/[23]ブリヂストン/[24]明治ゴム化成/[25]ヤマウチ	
C-2.	内製メーカー	622
	[1]キヤノン/[2]リコー/[3]富士ゼロックス/[4]コニカミノルタ/[5]東芝テック/ [6]京セラドキュメントソリューションズ	
C-3.	海外専業メーカー	634
	[1]Ah-Sung Chemical(韓国)/[2]Foshan Ascend Precision Accessories(中国)/[3]Galaxia Device (韓国)/[4]Jahwa Electronics(韓国)/[5]Sang-A Frontec(韓国)/[6]Shenzhen Fancy Creation Industrial(中国)/[7]Shenzhen LEPUTAI Technology(中国)/[8]Taejin Precision(韓国)	
C-4.	その他メーカー	651
	[1]日本メーカー/[2]海外メーカー	

非磁性現像ローラー

3. 非磁性現像ローラーの用途別サイズ別出荷本数/出荷金額(2016年~2022年)
1) 出荷本数

用途	年	2016年		2017年		2018年		2019年 (見込)		2020年 (予測)		2021年 (予測)		2022年 (予測)	
		本数	%	本数	%	本数	%	本数	%	本数	%	本数	%	本数	%
モノクロPPC (MFP)	A4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	A3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	小計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	対前年比	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
モノクロ (MFP)	A4	18,400	38.7	18,820	38.0	19,848	39.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	A3	412	0.9	334	0.7	307	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	18,812	39.6	19,154	38.7	20,155	40.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年比	-	-	101.8	105.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラーPPC	A4	18,400	38.7	18,820	38.0	19,848	39.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	A3	412	0.9	334	0.7	307	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	18,812	39.6	19,154	38.7	20,155	40.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年比	-	-	101.8	105.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラーPPC (MFP)	A4	27,665	58.3	29,300	59.2	29,080	57.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	A3	1,011	2.1	1,011	2.0	960	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	28,676	60.4	30,311	61.3	30,040	59.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年比	-	-	105.7	99.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラー製品	A4	27,665	58.3	29,300	59.2	29,080	57.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	A3	1,011	2.1	1,011	2.0	960	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	28,676	60.4	30,311	61.3	30,040	59.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年比	-	-	105.7	99.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	A4	46,065	97.0	48,120	97.3	48,928	97.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	A3	1,423	3.0	1,345	2.7	1,267	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	47,488	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

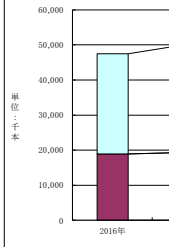
分析編

< 部品の生産拠点 >

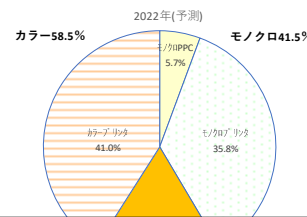
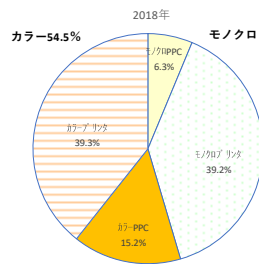
社名	部品名	場所
I.S.T	(定着ベルトの検査)	広東省中山市
荒井製作所	ヒートローラー	広東省東莞市
	加圧ローラー	
	搬送ローラー	
Thai Arai Co., Ltd (タイ)	加圧ローラー	チョンブリー県
東莞井上五金橡塑有限公司 (中国)	トナー供給ローラー	広東省東莞市
	転写ローラー	
	給紙ローラー	
	搬送ローラー	

分析編

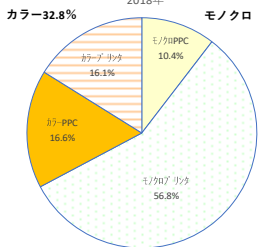
帯電ローラー



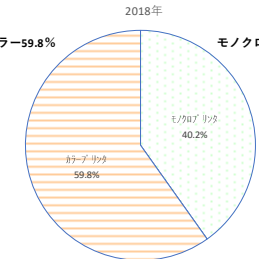
< 顧客7社の合計 >
2018年の用途別出荷本数比率は、全



マグネットローラー

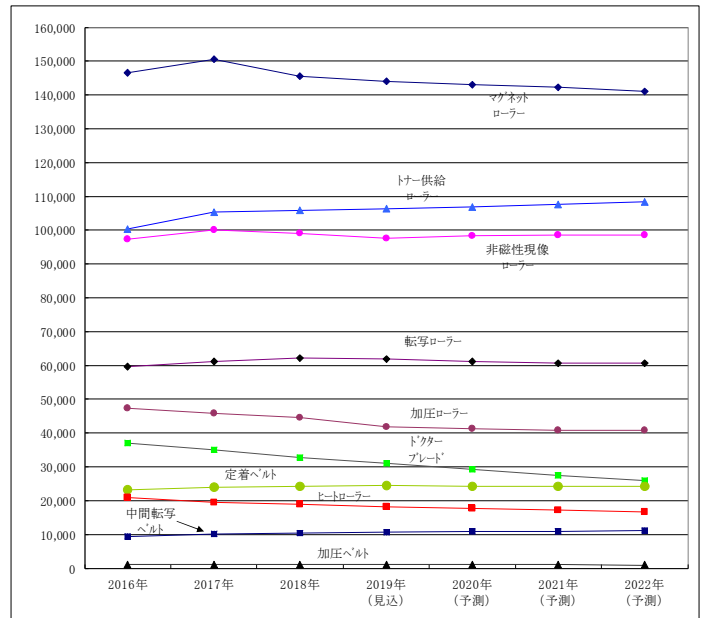
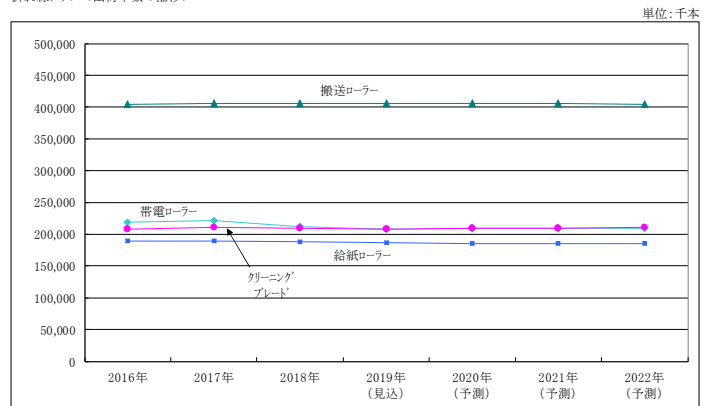


非磁性現像ローラー



分析編

折れ線グラフ< 出荷本数の推移 >



※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

分析編

[2] リコー

1) モノクロ機 (2019年6月現在)

	帯電	露光	現像	転写	定着	クリーニング
モノクロ PP	コナ	レーザー			定着ベルト(PD)	
A3 複合機 75~90ppm						
A3 複合機 25~60ppm	ローラー	LED				
A3 複合機 13~20ppm						
A4 複合機						
A3 プリンタ 75ppm	コナ	レーザー				
A3 プリンタ 32~38ppm	ローラー	LED				
A4 プリンタ SP300/400/500系						
A4 プリンタ SP2000系/SP200系						
A3 複合機のメイン機種 (25~60ppm)						

2) カラー機 (2019年6月現在)

	帯電	露光
カラー PP C9200系/C7200系		
カラー PP C5200系		
A3 複合機 75~80ppm		
A3 複合機 75~20~60ppm		
A3 複合機 75~18ppm		
A4 複合機		
A3 プリンタ 75~40ppm~		
A4 プリンタ 75~30~40ppm		
A4 プリンタ 75~30ppm		
A4 プリンタ 75~20ppm		

2017年11月 LEDを採用する定着は定着ベルトの C5200系は

キヤノン

C-2. 内製メーカー
[1] キヤノン
1. 全体状況
1) 出荷本数/出荷金額の推移 (2016年~2022年)

年	2016年	2017年	2018年	2019年 (見込)	2020年 (予測)	2021年 (予測)	2022年 (予測)
帯電ローラー							
マグネトロラー							
非磁性現像ローラー							
トナー供給ローラー							
転写ローラー							
中間転写ベルト							
定着ベルト							
加圧ローラー							

定着ベルト

[6]-4. 定着ベルト
1. 出荷本数 (2016年~2022年)

メーカー	年							
	2016年	2017年	2018年	2019年 (見込)	2020年 (予測)	2021年 (予測)	2022年 (予測)	
L.S.T								
NOK/シンジータック								
金陽社								
昭和電線ケーブルシステム								
住友電気工業								
日東電工								
個別分小計								
対前年比								
*キヤノン								
*富士ゼロックス								
*リコー								
*日星電気								
*Foshan Ascend (中国)								
*Sang-A Frontec (韓国)								
*Taejin Precision (韓国)								
*サードパーティ他								
個別外小計								
対前年比								
合計								
対前年比								

単位:千本

12,000

*...用途別・材料別出荷本数/出荷金額の推移 (2016年~2022年)

① 2018年の出荷本数は対前年比1.1倍に推移した。2019年以降は安定的に推移した。2019年以降は安定的に推移した。2019年以降は安定的に推移した。

② 専業メーカーでは、キヤノンのプロ向けに高いシェアを占めている。複写機向けに高いシェアを占めている。複写機向けに高いシェアを占めている。

③ キヤノンは複写機向けを中心に、2019年をもって生産を終了した。

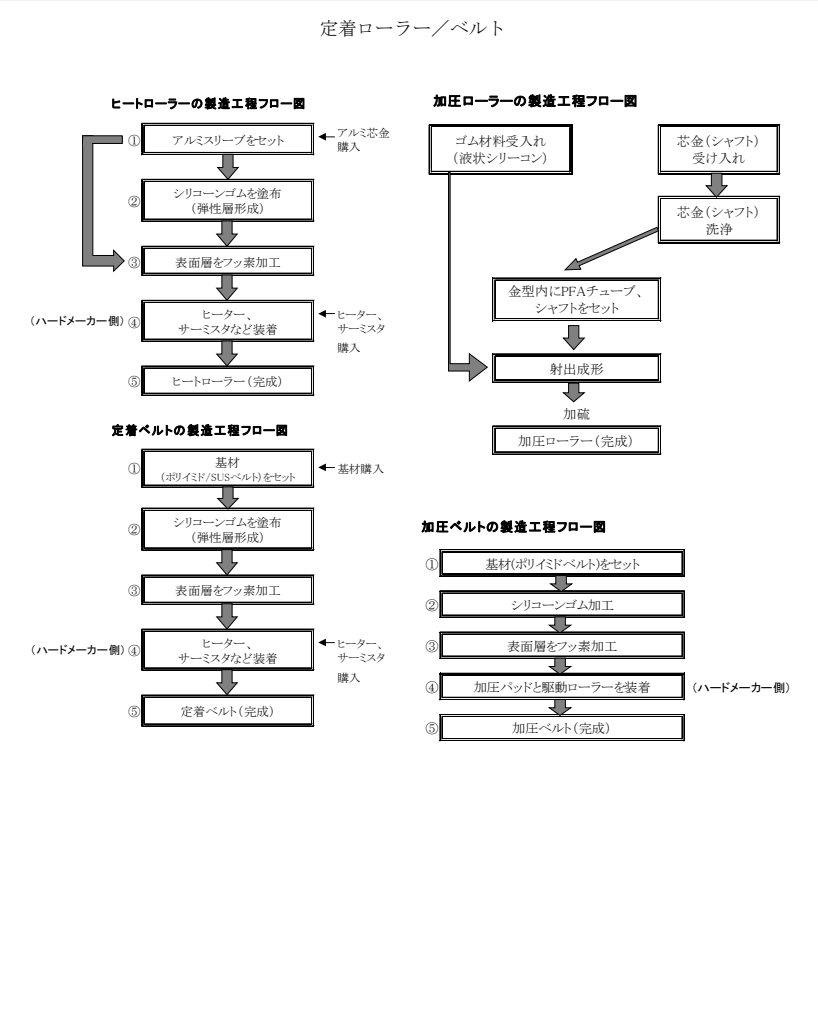
④ 富士ゼロックスは複写機向けに定着ベルトの搭載を続けていく方針の通り、2019年以降は生産を終了した。

⑤ リコーは複写機向けに定着ベルトの搭載を続けていく方針の通り、2019年以降は生産を終了した。

⑥ その他の日本メーカーでは、日星電気は複写機向けに定着ベルトの搭載を続けていく方針の通り、2019年以降は生産を終了した。

⑦ 韓国のSang-A Frontecは、HPPF国メーカーでは、Taejin Precisionと同規模の数量を維持していく。

⑧ 中国のFoshan Ascend Precisionは、ATTA Technology (中国: 威海市)、Beijing Hanwei Office Equipment (中国: 北京市)、Guangdong Jiaoshun Technology (中国: 台州市)、Lanjie Parts (中国: 台州市) などのメーカーから供給されている。



株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2019年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日			
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート（1986年～） 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 月会費：¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月／年	
《 2019年刊行予定物 》							
* 2019年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『中国が日本を追い越す感光体業界の実情』	¥500,000	2/22	\$5,200	4/12	日 英		
* 2019年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (314頁) 『中国・アジアが牽引する産業用インクジェット市場の最新動向』	¥500,000	3/28	\$5,000	6/17	日 英		
* 2019年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『戦略転換が急務のローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/末 予定	日 英		
* 2019年版[トナーマーケット総覧] 『事業の健全性が問われるトナー業界の将来性』	¥600,000	8/27 予定	\$6,000	10/18 頃予定	日 英		
* 2019年版[MFPマーケット総覧] 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12 頃予定	— —	—			
《 2018年刊行物 》							
* 2018年版[感光体マーケット総覧] (300頁) 『固定部品化が進む感光体市場の展望』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/25	日 英		
* 2018年版[インクジェット印刷マーケット総覧] (270頁) 『産業印刷分野への本格導入が進むインクジェットビジネスの最新動向』	¥500,000	3/29	\$5,000	6/29	日 英		
* 2018年版[ローラー系部品マーケット総覧] (653頁) 『再編か撤退かで揺れるローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/22	日 英		
* 2018年版[トナーマーケット総覧] (607頁) 『環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ』	¥600,000	8/28	\$6,000	10/19	日 英		
中国語版[トナー市場のデータハンドブック] (79頁) 『开始面临环境问题的碳粉行业将何去何从』(PDF版のみ)	¥50,000	(\$450)		10/11	中		
* 2018年版[MFPマーケット総覧] (727頁) 『存在感を増す中国ブランドと事務機業界のゆくえ』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	— —	—			
《 その他の刊行物 》							
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英		
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 分析編(810頁)、写真データ(535頁) 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—			